

## 市町村ヒアリングの結果

県内の市町村を対象として、平成27年9月にヒアリングを実施した。  
ヒアリング結果の概要は以下のとおりである。

### 1 ヒアリングで聴取した課題

#### ○普及・啓発に関する課題

- ・単身世帯や自治会未加入世帯に対する啓発が困難である。

#### ○再資源化・最終処分に関する課題

- ・容器包装プラスチックの中間処理コストが高い。主に、汚れたプラスチックの選別に係るコストが嵩んでいる。
- ・再資源化と比較し、埋立処分の方がコストが安く、再資源化するインセンティブが働きにくい。
- ・市内での最終処分場の確保が困難で、県外に搬出せざるを得ない。

#### ○適正処理に関する課題

- ・ガーデニングやDIY等で発生する、クリーンセンターでは処理できない廃棄物の処分先の確保が困難である。
- ・高齢化の進展に伴い、ごみ出し支援などのきめ細かな収集体制の整備が必要になっている。

### 2 県への要望

- ・積極的な情報提供をしてほしい。(ごみ有料化に関する情報、国の法改正に関する情報、県外の最新情報等)
- ・県内エコセメント施設の操業停止後の、焼却灰の再生処理の方向性を提示してほしい。
- ・大規模災害時における災害廃棄物の仮置き場の確保や処理体制の整備など、県がイニシアチブを発揮してほしい。